

# 参考資料

## ■参考資料一覧

第2回まちづくり市民意見交換会 開催結果の概要	・・・・・・・・	参考1
まちづくり学生ワークショップ 開催結果の概要	・・・・・・・・	参考2

## 第 2 回まちづくり市民意見交換会 開催結果の概要

### 1. 開催目的

第 7 次総合計画策定に向け、計画の策定状況を説明し、将来都市像「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」の実現に向けて必要な取組や市民一人一人ができることについて意見交換を行い、計画に反映することを目的とする。

### 2. 内 容

- ・市からの話題提供：上越市の現状とこれからのまちづくりについて
- ・意見交換：4 人程度のグループに分かれ以下 2 点について意見交換を実施
  - ①将来都市像の実現に向けて必要な取組は何か。
  - ②将来都市像の実現に向けて自分ができることは何か。

### 3. 会場別の開催状況（参加者数：44 人）

日 時	会 場	参加者数
8 月 5 日（金）18：30～20：00	市民プラザ 第 3 会議室	5
8 月 6 日（土）15：00～16：30	市民プラザ 第 2 会議室	10
8 月 8 日（月）18：30～20：00	浦川原コミュニティプラザ 市民ホール	10
8 月 9 日（火）18：30～20：00	板倉コミュニティプラザ 市民ホール	13
8 月 10 日（水）18：30～20：00	ユートピアくびき希望館 第 3 会議室	6
合 計		44

※参加者の年代層：30 代～80 代、そのうち、30 代以下が全体の 9%であった。

（市民意見交換会の様子）



### 4. ウェブでの意見募集（意見者数：31 人） ※8 月 11 日時点

7 月 25 日（月）から 8 月 15 日（月）まで、市ホームページにて市民意見交換会と同様に①②の意見を伺った。

※意見者の年代層：20 代～70 代、そのうち 30 代以下が全体の 84%であった。

## 5. 主な意見

<b>第7次総合計画（案）全体について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・担い手が不足しており、「ひとづくり」を基本理念に据えることは共感できる。</li><li>・全体的に「希望」を感じることができ、前向きでよいと感じる。</li><li>・市民一人一人を大切にして、誰も取り残さないという意味が伝わりよいと感じる。</li><li>・分野が広く、多岐に渡るため、総花的で分かりづらい。</li></ul>
<b>支え合い、生き生きと暮らせるまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・有償ボランティアの活動を市民に周知する。</li><li>・老人クラブへの加入を推進する。</li><li>・高齢者の通院をサポートしたらポイントが貯まる等、支え合いを促す仕組みをつくる。</li></ul>
<b>安心安全、快適で開かれたまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・市内各方面にアクセスできるように交通網を整える。</li><li>・上越市の玄関口となる上越妙高駅の魅力を高める。</li><li>・中山間地の荒廃は平野部の災害にもつながるので、国土保全の意識で中山間地域を守る。</li></ul>
<b>誰もが活躍できるまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・住民自治の基本となる町内会活動を活発化する。</li><li>・今日の場のように市民が、話し合うことができる機会をつくる。</li><li>・多様性を認めてもらえるような社会にする。</li><li>・困っている人、助けたい人の人材バンクを整備する。</li><li>・子ども成長し大人になり、市外に転出してでも地元で愛着を感じられるように、地域の大人たちが子どもたちの味方となる。</li></ul>
<b>活力と魅力があふれるまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・就農者を増やし、食育や地産地消を推進するために農家を支援する。</li><li>・豊かな自然の保全に寄与する林業に関連した仕事を早くから子どもに知ってもらう。</li><li>・行政が主となり、就職前の若者世代に市内企業をPRする。</li><li>・学校給食において、地産地消を進めるとともに、有機野菜を中心に調理する。</li></ul>
<b>次代を担うひとを育むまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・市民が気軽に相談できるよう公民館の機能を強化する。</li><li>・子育て世帯向けの様々な情報を集約し、SNSや市HP等で分かりやすく発信する。</li><li>・児童向けの屋外施設に日陰となる場所や休憩できるスペースを整える。</li><li>・伝統技術や知識を持っている人を講師とした教育を行う。</li></ul>
<b>その他、行財政など</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・行政若手職員が学校に赴き、児童・学生と意見交換を実施する。</li></ul>

## まちづくり学生ワークショップ 開催結果

## 1. 開催目的

未来の上越市を担う市内在学の高校生・専門学生・大学生の若者世代が、地域のまちづくりについて考え、提案する機会の創出を目的とする。

## 2. 日時、会場

日時：8月7日（日）午後1時から午後4時40分まで

会場：春日謙信交流館

## 3. 内容

- ・市からの話題提供：上越市の現状とこれからのまちづくりについて
- ・グループワーク：2～5人程度のグループに分かれ、以下のとおり実施
  - ①今の上越市について気になっていること
  - ②10年後・20年後の上越市はどうなっている？
  - ③上越市が良い方向に進むにはどうすればよいか？
  - ④提案シートの作成
  - ⑤提案発表

## 4. 参加者

6グループ 21人

【内訳】

区分	参加校	参加者数
高等学校	上越高等学校	8
	関根学園高等学校	2
	高田高等学校	2
	高田北城高等学校	1
専門学校	上越公務員・情報ビジネス専門学校	6
大学	上越教育大学	2
合計		21



グループワークの様子



市長への提案の様子

## 5. 主な提案

<b>支え合い、生き生きと暮らせるまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・よくゴミが落ちている場所に看板を設置する。</li><li>・ごみのポイ捨てを防止するため、注意喚起動画を作成する。</li></ul>
<b>安心安全、快適で開かれたまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・上越妙高駅周辺の店舗、オフィスビルなどの開発を進める。</li><li>・海がない地域からの誘客を促進するため、海をきれいにする</li><li>・除雪技術の向上を図る。</li><li>・公共交通機関の割引のバリエーションを増やす。</li><li>・鉄道会社をまたぐフリーパスを増やす。</li><li>・上越妙高駅から直江津駅間の電車の運行本数を増やす。</li></ul>
<b>誰もが活躍できるまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・晴天率ワーストワンだからこそ、人柄のよさナンバーワンを目指す。</li><li>・地域おこし協力隊の活動内容の拡充を図る。</li><li>・市が移住支援と起業支援を活発に行う。</li></ul>
<b>活力と魅力があふれるまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・企業の取組や魅力などをPRする「企業ドラフト」を開催し、最優秀企業に支援を行う。</li><li>・雪まつりなど利雪につながるイベントを開催する。</li><li>・上越妙高駅に常設のラーメン屋台を設置する。</li><li>・SNS、メディアを活用して、市や地元企業の魅力を発信する。</li><li>・「都会」と「田舎」の良さを両方兼ね備えていることをPRする。</li><li>・市外に進学、転出した人へ上越市をPRし続ける。</li></ul>
<b>次代を担うひとを育むまち</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・誰もが笑顔あふれるまちを目指し、明るいあいさつを継続的に実施する。</li><li>・公共の自習室や学童保育を充実させるなど、子育て支援策を拡充する。</li><li>・総合大学、短期大学、専門学校の設置、誘致を行う。</li><li>・地域と連携した学び・研究を推進する。</li></ul>
<b>その他、行財政など</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・市がイベント時に公共交通機関の利用を呼びかける。</li><li>・各種パンフレットに交通機関までの道案内を掲載する。</li></ul>